

麻しん・風しんについて

【発生状況】

年		2016	2017	2018	2019	2020(※1)
麻しん	千葉県	25	4	26	26	0
	全 国	165	186	282	746	13
風しん	千葉県	13	8	383	199	6
	全 国	126	91	2,917	2,266	101
CRS (※2)	千葉県	0	0	0	0	0
	全 国	0	0	0	4	1

(※1) 2020 年は速報値

(※2) CRS : 先天性風しん症候群

【千葉県風しん抗体検査事業受検実績】

年度	性別	件数	判定結果				予防接種の実施		
			陰性 ①	判定 保留 ②	陽性 8.0 未満 ③	陽性 8.0 以上	対象 ①② ③	接種 (予定) 者数	接種 率%
平成 28 年度	女性	714	66 (9.2%)	4 (0.6%)	112 (15.7%)	532 (74.5%)	182	57	31.3%
平成 29 年度	女性	655	69 (10.5%)	9 (1.4%)	128 (19.5%)	440 (68.5%)	206	96	46.6%
平成 30 年度	女性	3,544	928 (26.2%)		2619 (73.8%)		928	579	62.4%
	男性	3,815	1,161 (30.4%)		2,659 (69.6%)		1,161	745	64.2%
令和 元 年度	女性	1,500	460 (30.6%)		1,040 (69.3%)		460	268	58.3%
	男性	1,653	545 (32.9%)		1,108 (67.0%)		545	327	60.0%
令和 2 年度 (※)	女性	1,225	438 (28.0%)		787 (71.5%)		集計中	集計中	集計中
	男性	1,405	445 (28.5%)		960 (71.5%)		集計中	集計中	集計中

※令和 3年 2月現在

【千葉県麻しん風しん混合ワクチン定期接種率】

年度	第 1 期	第 2 期
平成 27 年度	96.7%	93.0%
平成 28 年度	96.5%	93.6%
平成 29 年度	95.8%	93.5%
平成 30 年度	98.1%	95.1%
令和元年度	95.1%	94.1%

【風しん追加的対策の状況】

1 千葉県の場合（令和3年1月末現在）

- 抗体検査受検者数
155,867名（全対象者の19.4%）
- 予防接種実施者数
31,393名（受検者の20.1%）
※国は予防接種実施者数は受検者の約14%と積算。

2 全国の実施状況及び検討状況

出典：令和2年12月17日開催 第50回厚生科学審議会感染症部会

クーポン券の送付と抗体検査等の実施状況について

クーポン券の送付規模

昭和54年4月1日生～昭和37年4月2日生まれの男性	約1,534万人
2019年度のクーポン券送付範囲(原則※) 昭和54年4月1日～昭和47年4月2日生まれ	約646万人
2020年度のクーポン券送付範囲(原則※) 昭和47年4月1日生～昭和41年4月2日生まれ	約570万人
昭和41年4月1日生～昭和37年4月2日生まれ	約319万人

※それ以外の年代にも市区町村の判断で送付可能。
また、対象者が市区町村に申し出た場合も、クーポン券を発行。

第28回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会
<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000473488.pdf>

抗体検査・予防接種の実施状況

クーポン券を利用した件数(国保連が処理した実績件数)

抗体検査	見込み	2019年度	2020年度	2021年度	目標1(累計)	目標2(累計)
		実績	約330万人	約370万人	約220万人	約480万人
予防接種	見込み	約125万人	約125万人※1	—	約250万人※2 (達成率52.1%)	約250万人※2 (達成率 27.2%)
	実績	約70万人	約75万人	約45万人	約100万人	約190万人
		約27万人	約24万人※1	—	約61万人※2 (達成率51%)	約61万人※2 (達成率 28.7%)

※1 R2.4月～R2.10月請求実績 ※2 R1.6月～R2.10月請求実績

追加的対策の到達目標とそれに必要な抗体検査・予防接種の実施規模

- 【目標1】2021年7月までに抗体保有率を85%（抗体検査を約480万人、予防接種を約100万人）
- 【目標2】2022年3月までに抗体保有率を90%（抗体検査を約920万人、予防接種を約190万人）

風しんの追加的対策の目標達成時期の考え方について(案)

現行の目標

- 目標1：2021年7月までに抗体保有率を85%以上に引き上げる。
- 目標2：2022年3月までに抗体保有率を90%以上に引き上げる。

現状・経緯

- 新型コロナウイルスの感染拡大により、外出の自粛やテレワークの推奨等、平時とは異なる状況で、医療機関の受診等が必要となる風しんの抗体検査・予防接種の実施をこれまでどおり推進することは困難。
- 風しんの追加的対策の対象者や関係者に対して、現状を踏まえた考え方等を示す必要がある。
- 上記を踏まえ、2020年6月に目標1について2020年7月を2021年7月としたところ。

対応案

引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止が最優先課題であることを踏まえて、2021年夏頃をメドに新型コロナウイルスの感染状況、健康診断の実施状況、風しん対策の進捗状況等を勘案し、目標1及び2の達成時期について見直すこととする。

ただし、中止又は延期された健康診断等が再開された場合に風しん対策がしっかりと取り組まれるよう、多くの企業で定期健診の機会に風しんの抗体検査を円滑に実施できる環境の整備や仕組みの構築等に引き続き取り組む。

<具体的な対応>

- 当初目標の達成を目指した対応は行わないものの、着実に風しん対策が進むように対応することとし、風しんの抗体検査・予防接種を行う場合は、時間や場所に配慮し、換気や消毒を行う等、新型コロナウイルス感染症の感染防止策に努める。
- また、風しん対策の強化につながる手続きの簡略化等の方策について検討・調整を進める。

⇒新型コロナウイルスの感染拡大の防止に配慮しながら、風しん対策を強力に推進する。